

市民と専門家が触って考える これからの都市デザイン



～ まちづくりハンズオンの実践 ～

PLATEAU YOKOHAMAチーム & 自己紹介

IT, Open Data, Civic Tech...



INFO LOUNGE

統括

クラウド

Raspberry Pi

IT, CAE, VR....

CYBERNET

Unity

都市, 建築, DX...



山手総合計画研究所

Tangible Unit ハード
ハンズオン企画運営



株式会社山手総合計画研究所
代表取締役 片岡公一

現在の 都市・まちづくりの キーワード例

- ウォーカブルシティ
- 公共空間活用
- 公民連携
- タクティカル
アーバニズム / 社会実験
- 防災
- 団地再生
- 都市再生
- 立地適正化



都市空間に関するこれまでのやりとり

行政、事業者、設計者等の専門家

市民

図面
パース
文章



2次元 + 言語



言語



してほしい



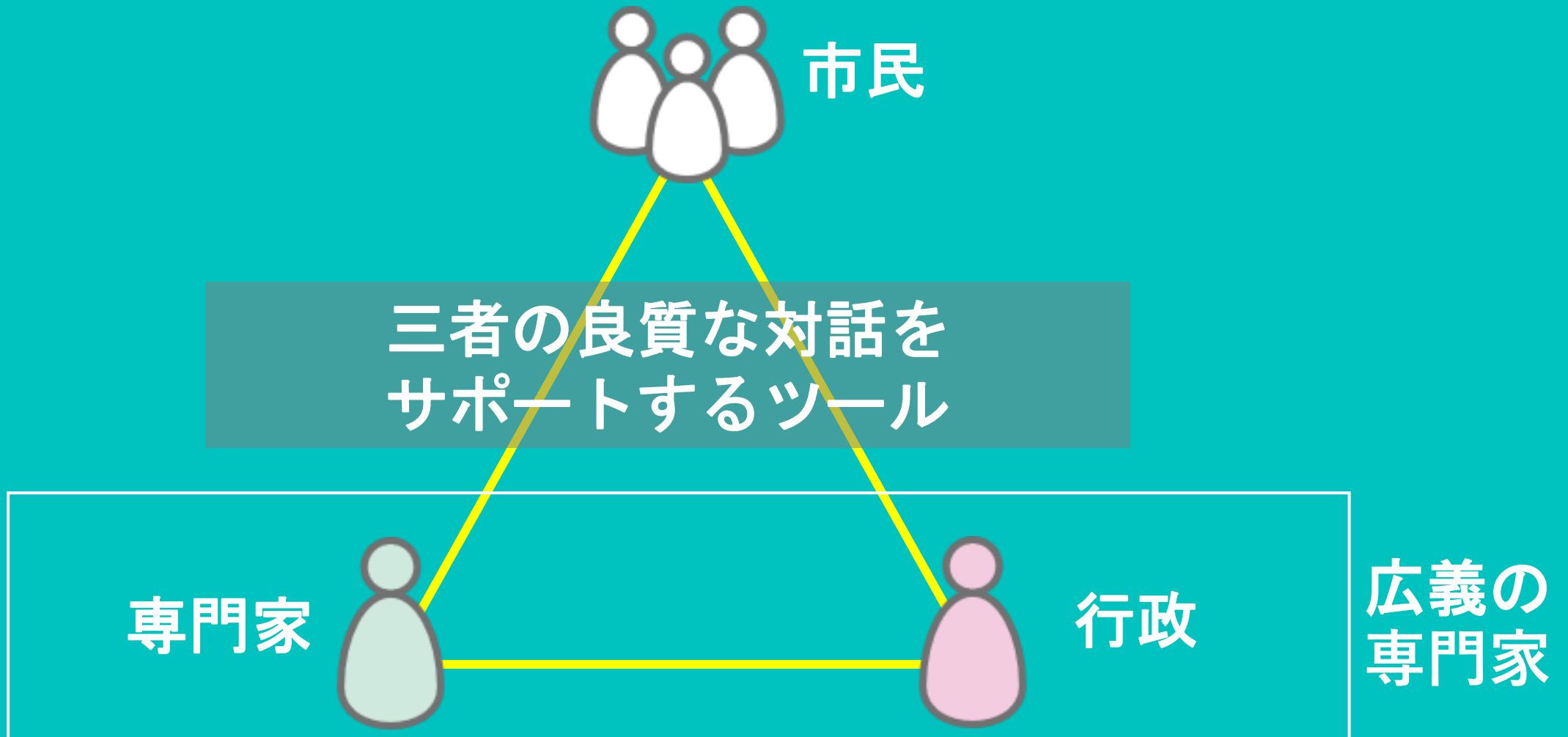
したい



都市空間に関するこれまでのやりとり

- 図面やパースを見て、空間を正確に想像する能力の限界
- 発言・文章などの言語を理解し、空間に置き換える能力の限界
- 情報と専門的能力の格差からくる対話の一方方向性による情報の受け手の能動性の限界
- やりとりに時間とコストがかかる

専門家・行政と市民の垣根をなくす



PLATEAU

3D都市モデルの
オープンデータ

TANGIBLE

触れることのできる
実体のある

INTERFACE

装置と人間との間の
入出力部分

大人も子どもも、専門家も市民も、

楽しい

直感的な操作

スピーディーな意思疎通

高い満足度

ユニット型インターフェースの開発

1. 可搬性

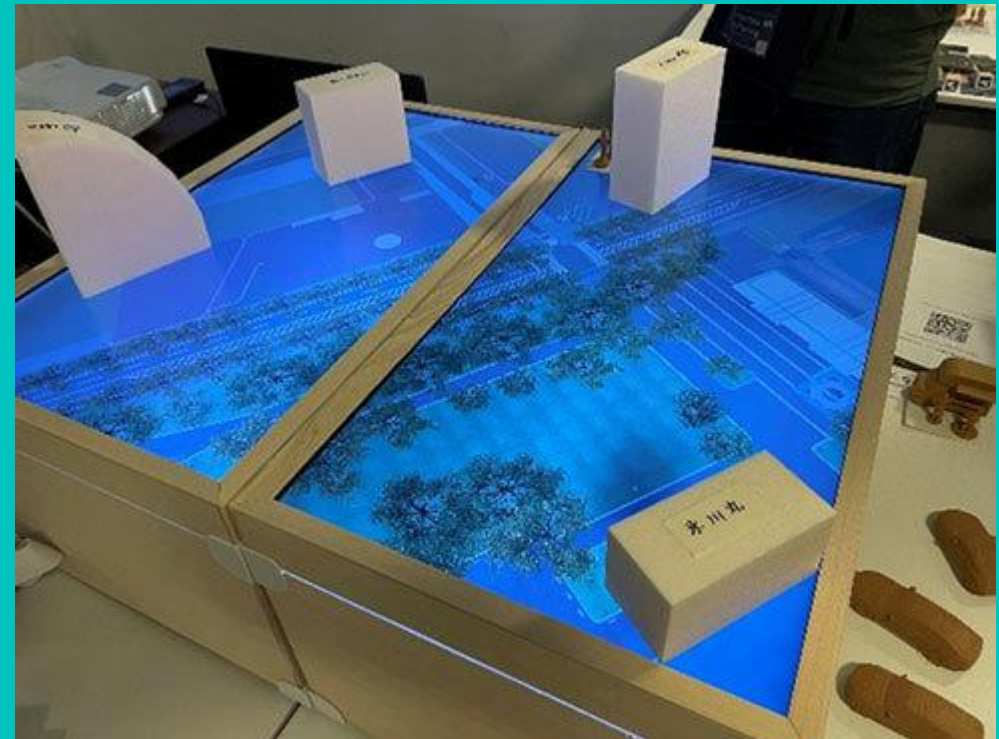
- ユニットの小型化により持ち運び可能に

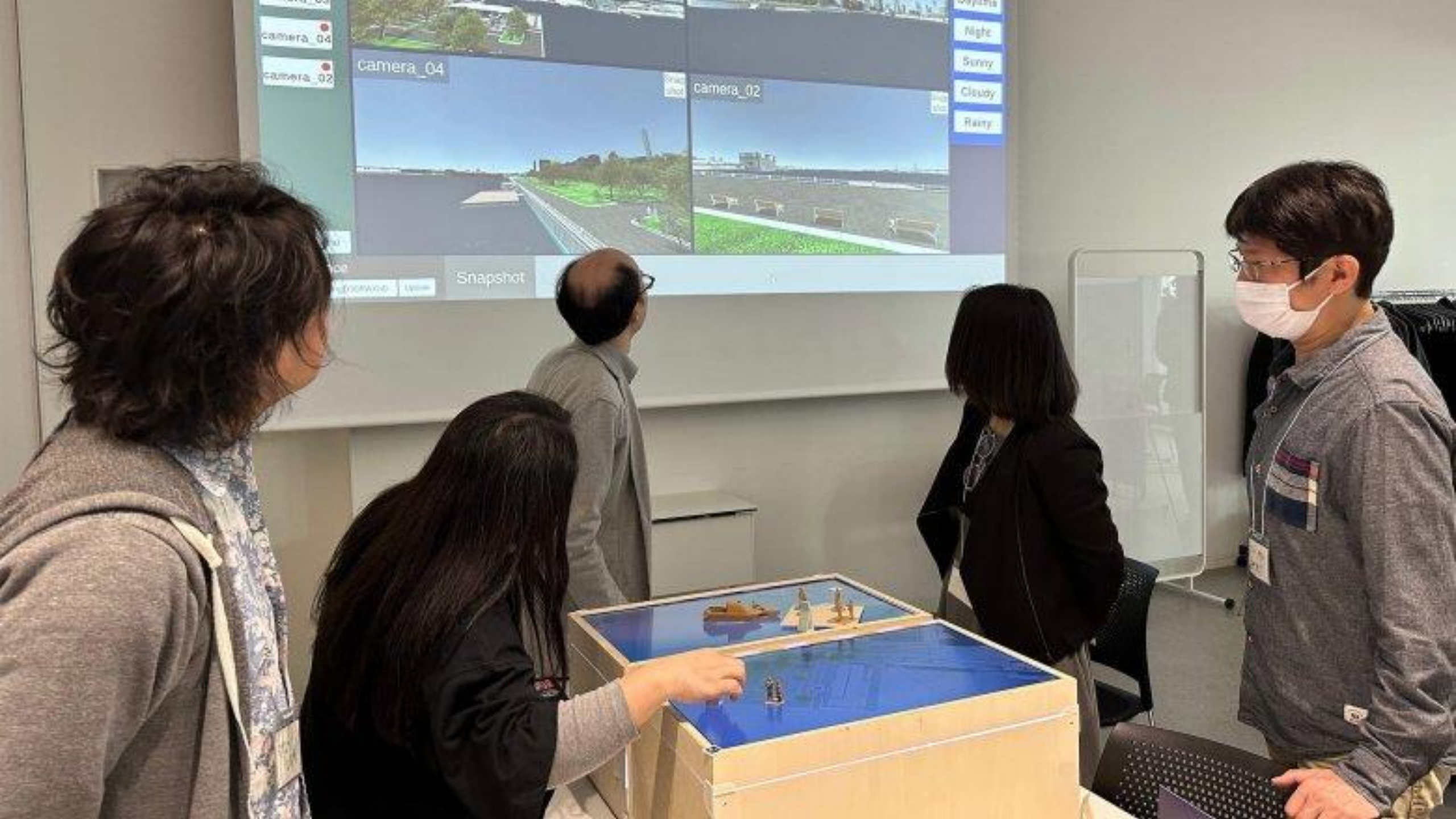
2. 拡張性

- 各ユニットごとにスケールや表示位置を設定可能
- 複数ユニットを連結して使用可能

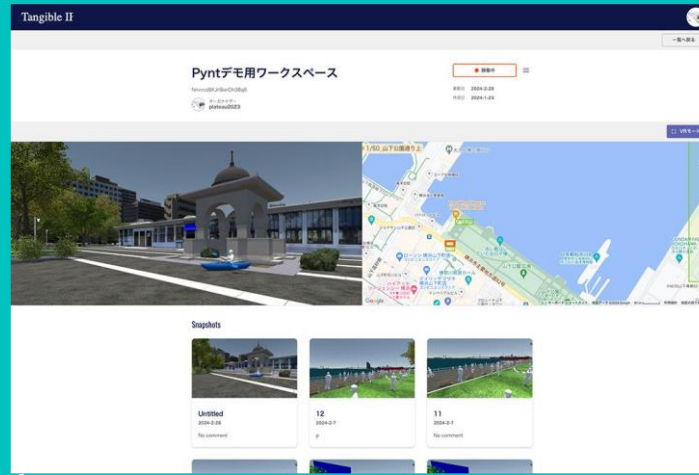
3. 汎用性

- クラウドでワークスペースを管理することで汎用化





クラウドの ワークスペース 管理サイト

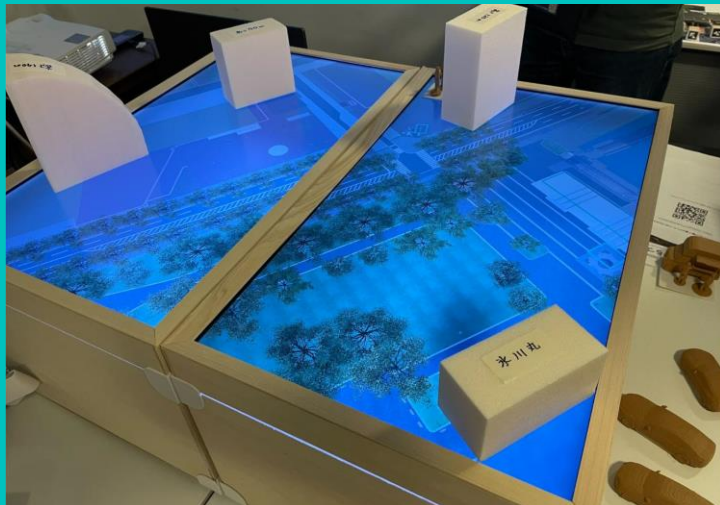


各ユニット表示の
地図の位置・スケール
初期設定

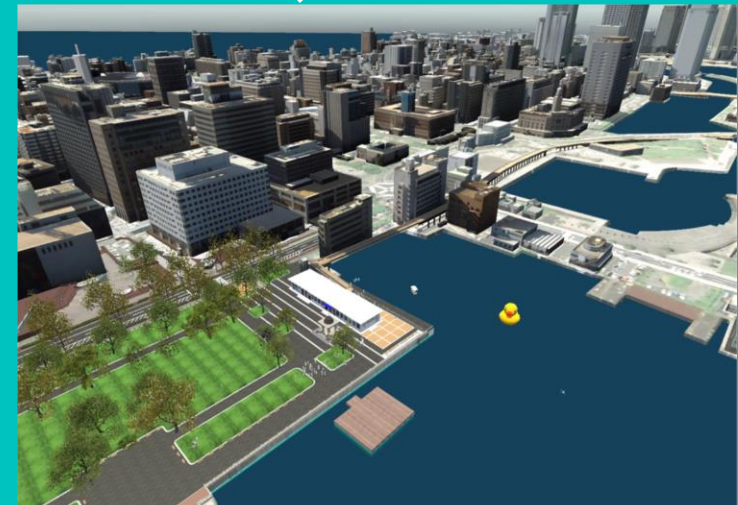
スナップショットの
保存

建物や駒の位置と
3Dデータを
ダウンロード &
VRリアルタイム反映

各コマの
種類・位置情報の送信



タンジブルユニット



VR空間にリアルタイム反映

昨年度の横浜でのハンズオン フロー

Day1

フィールドワーク
検討の方向性の議論
欲しいコマのリストアップ



Day2

Tangible Interfaceをつかった
ディスカッション・空間イメージの共有

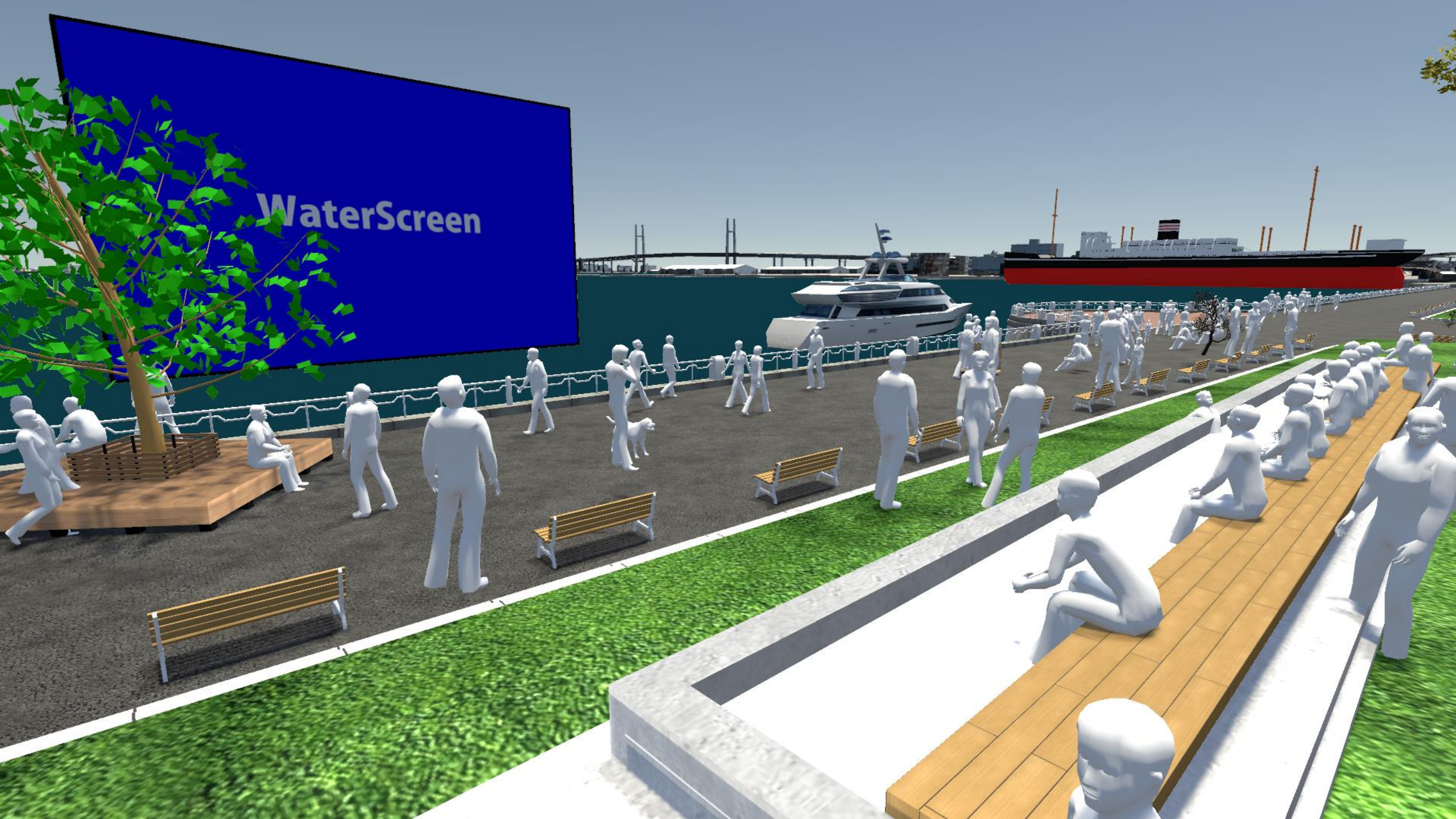








WaterScreen







今年度・今後の予定

- 実践プロジェクト投入
- 全国複数個所への展開